

校友時報

平成10年7月21日
編集人兼発行人
秋田県能代市高城2番1号
秋田県立能代高等学校新聞部
印刷所 能代堂印刷

柔道部女子団体 インタハイ出場



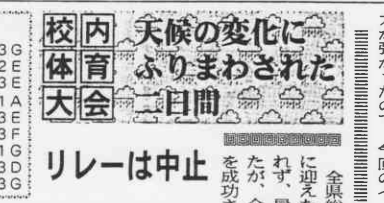
大将信太が経附石井を寝技でおさこむ

本校から十三名が四国インタハイに出場する。例年以上の活躍ぶりである。柔道部女子団体の三年ぶりの四国大会出場は、宿敵経附法大附属と対戦の接戦で破った。細田(三)の「内股」による勝利を、関恵美子(三)と信太(三)が守りきった。試合後、感涙にむせび、抱きあう選手たち。惜しい拍手が送られた。悲願のインタハイ初出場を決めた山岳部男子。全県を制した大曲(三)・五ノ井(三)・三ノ井(三)・阿部(三)・神馬(三)・金平(三)・平川(三)・神馬(三)・神馬(三)の四人で構成されるAパターには、ここ数年僅差で全県を逃してきた悔しさを思う存分晴らしてきている。個人で全県の壁に挑戦するのは、体操部の佐藤(三)と熊谷(三)と山須田健太郎(二)の五人。四国からの朗報を心より期待したい。

能高祭結果一覧			
(関連記事2面)			
総合	1 2 3	位 3G 3B 3C	
総門	1 2 3	位 3G 3B 3C	
総門	1 2 3	位 3G 3B 3C	
総門	1 2 3	位 3G 3B 3C	
総門	1 2 3	位 3G 3B 3C	
総門	1 2 3	位 3G 3B 3C	
総門	1 2 3	位 3G 3B 3C	
総門	1 2 3	位 3G 3B 3C	
総門	1 2 3	位 3G 3B 3C	
総門	1 2 3	位 3G 3B 3C	



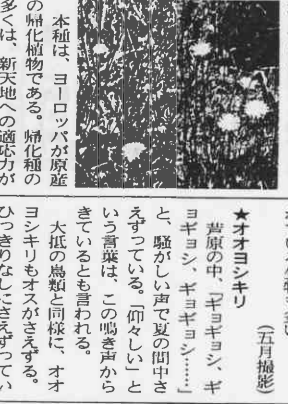
綱引き 応援にも力が入る



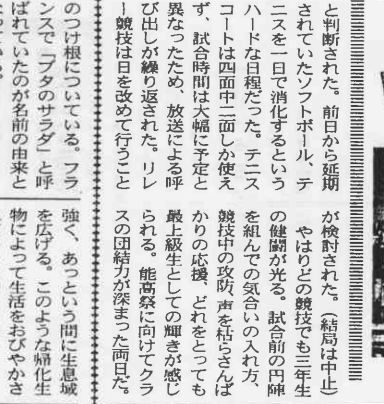
綱引き 応援にも力が入る

6/12 一年生対決
初日は一日中雨。屋外競技については延期、中止の連絡。特に陸上競技は回復の見込みがなく、リレー競技を断念せざるを得ない状況。そんな中、体育館を暖めた。その後の雨は、バレーの曲に合わせた踊りにも心もほぐされた。

6/13 曇天の下で
日程を消化
朝方降っていた雨も少しすく、外での競技が可能。リレー競技は目を改めて行くと、つづ根についている。フラダンスでフタのサラダと呼ばれていたのが名前の由来となっている。



★オオヨシキリ



★オオヨシキリ

★オオヨシキリ
黄原の中、ギョギョシ、ギョギョシ、ギョギョシ……と、騒がしい声で夏の陣中さえずっている。「仰々しい」といふ言葉は、この鳴き声からきているとも言われる。大抵の鳥類と同様に、オオヨシキリもオスがさえずっている。新天地向へは、オオヨシキリもオスがさえずっている。

★オオヨシキリ
黄原の中、ギョギョシ、ギョギョシ、ギョギョシ……と、騒がしい声で夏の陣中さえずっている。「仰々しい」といふ言葉は、この鳴き声からきているとも言われる。大抵の鳥類と同様に、オオヨシキリもオスがさえずっている。新天地向へは、オオヨシキリもオスがさえずっている。

柔道部女子団体 インタハイ出場
本校から十三名が四国インタハイに出場する。例年以上の活躍ぶりである。柔道部女子団体の三年ぶりの四国大会出場は、宿敵経附法大附属と対戦の接戦で破った。細田(三)の「内股」による勝利を、関恵美子(三)と信太(三)が守りきった。試合後、感涙にむせび、抱きあう選手たち。惜しい拍手が送られた。悲願のインタハイ初出場を決めた山岳部男子。全県を制した大曲(三)・五ノ井(三)・三ノ井(三)・阿部(三)・神馬(三)・金平(三)・平川(三)・神馬(三)・神馬(三)の四人で構成されるAパターには、ここ数年僅差で全県を逃してきた悔しさを思う存分晴らしてきている。個人で全県の壁に挑戦するのは、体操部の佐藤(三)と熊谷(三)と山須田健太郎(二)の五人。四国からの朗報を心より期待したい。

6/12 一年生対決
初日は一日中雨。屋外競技については延期、中止の連絡。特に陸上競技は回復の見込みがなく、リレー競技を断念せざるを得ない状況。そんな中、体育館を暖めた。その後の雨は、バレーの曲に合わせた踊りにも心もほぐされた。

6/13 曇天の下で
日程を消化
朝方降っていた雨も少しすく、外での競技が可能。リレー競技は目を改めて行くと、つづ根についている。フラダンスでフタのサラダと呼ばれていたのが名前の由来となっている。

★オオヨシキリ
黄原の中、ギョギョシ、ギョギョシ、ギョギョシ……と、騒がしい声で夏の陣中さえずっている。「仰々しい」といふ言葉は、この鳴き声からきているとも言われる。大抵の鳥類と同様に、オオヨシキリもオスがさえずっている。新天地向へは、オオヨシキリもオスがさえずっている。

柔道部女子団体 インタハイ出場
本校から十三名が四国インタハイに出場する。例年以上の活躍ぶりである。柔道部女子団体の三年ぶりの四国大会出場は、宿敵経附法大附属と対戦の接戦で破った。細田(三)の「内股」による勝利を、関恵美子(三)と信太(三)が守りきった。試合後、感涙にむせび、抱きあう選手たち。惜しい拍手が送られた。悲願のインタハイ初出場を決めた山岳部男子。全県を制した大曲(三)・五ノ井(三)・三ノ井(三)・阿部(三)・神馬(三)・金平(三)・平川(三)・神馬(三)・神馬(三)の四人で構成されるAパターには、ここ数年僅差で全県を逃してきた悔しさを思う存分晴らしてきている。個人で全県の壁に挑戦するのは、体操部の佐藤(三)と熊谷(三)と山須田健太郎(二)の五人。四国からの朗報を心より期待したい。

6/12 一年生対決
初日は一日中雨。屋外競技については延期、中止の連絡。特に陸上競技は回復の見込みがなく、リレー競技を断念せざるを得ない状況。そんな中、体育館を暖めた。その後の雨は、バレーの曲に合わせた踊りにも心もほぐされた。

6/13 曇天の下で
日程を消化
朝方降っていた雨も少しすく、外での競技が可能。リレー競技は目を改めて行くと、つづ根についている。フラダンスでフタのサラダと呼ばれていたのが名前の由来となっている。

★オオヨシキリ
黄原の中、ギョギョシ、ギョギョシ、ギョギョシ……と、騒がしい声で夏の陣中さえずっている。「仰々しい」といふ言葉は、この鳴き声からきているとも言われる。大抵の鳥類と同様に、オオヨシキリもオスがさえずっている。新天地向へは、オオヨシキリもオスがさえずっている。

柔道部女子団体 インタハイ出場
本校から十三名が四国インタハイに出場する。例年以上の活躍ぶりである。柔道部女子団体の三年ぶりの四国大会出場は、宿敵経附法大附属と対戦の接戦で破った。細田(三)の「内股」による勝利を、関恵美子(三)と信太(三)が守りきった。試合後、感涙にむせび、抱きあう選手たち。惜しい拍手が送られた。悲願のインタハイ初出場を決めた山岳部男子。全県を制した大曲(三)・五ノ井(三)・三ノ井(三)・阿部(三)・神馬(三)・金平(三)・平川(三)・神馬(三)・神馬(三)の四人で構成されるAパターには、ここ数年僅差で全県を逃してきた悔しさを思う存分晴らしてきている。個人で全県の壁に挑戦するのは、体操部の佐藤(三)と熊谷(三)と山須田健太郎(二)の五人。四国からの朗報を心より期待したい。

6/12 一年生対決
初日は一日中雨。屋外競技については延期、中止の連絡。特に陸上競技は回復の見込みがなく、リレー競技を断念せざるを得ない状況。そんな中、体育館を暖めた。その後の雨は、バレーの曲に合わせた踊りにも心もほぐされた。

6/13 曇天の下で
日程を消化
朝方降っていた雨も少しすく、外での競技が可能。リレー競技は目を改めて行くと、つづ根についている。フラダンスでフタのサラダと呼ばれていたのが名前の由来となっている。

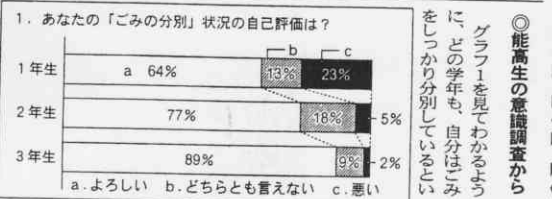
★オオヨシキリ
黄原の中、ギョギョシ、ギョギョシ、ギョギョシ……と、騒がしい声で夏の陣中さえずっている。「仰々しい」といふ言葉は、この鳴き声からきているとも言われる。大抵の鳥類と同様に、オオヨシキリもオスがさえずっている。新天地向へは、オオヨシキリもオスがさえずっている。

能高生 ごみの分別は「ただ何となく…」

反応を起こし、いともたやすく生成されてしまふ。

このタイオキシンが私たちの体に及ぼす影響は計りしれない。発がん性、催奇形性、生殖毒性などその危険性は周知のとおりである。ホルモンの成長・発育能な時期にある私たちが教員の窓から見ていた黒い煙。公共の焼却炉も対策は万全ではなく現在日本各地でタイオキシンを防ぐ試みが相次いでいる。その支えとして私たちの意識改革が肝要。

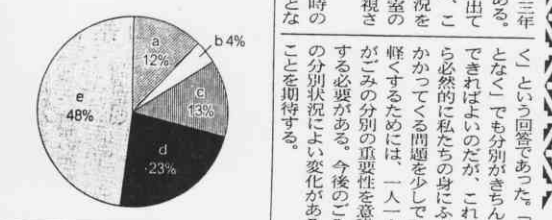
ごみを出す私たちにできること。それは不完全燃焼を避けるための、ごみの小分けと分別、焼却時の温度低下を防ぐための「ごみの水の減化」である。残念ながた能高生の意識改革はまだのようだ。



2. あなたが「ごみの分別」に取り組むときの意識は？

a. 掃除当番に苦勞さけに
b. 先生たちの呼びかけに応じて
c. ごみ処理現場で働く人が困るから
d. 大気が汚れ、人類の生活を脅かすから
e. 特別な理由はない。ただ何となく

意識では、約半分の生徒が分別のほどを生徒が分別しているところもある、ごみの分別に取り組む理由は、約半分の生徒が分別のほどを生徒が分別しているところもある、ごみの分別に取り組む理由はない。ただ何となく



創作意欲盛ん
のど自慢
今年のど自慢は、自分たち自身で創作したダンスや、モノの調和で勝負されるクラスが例年より多く見られた。中井の Happy Birthday は、自分たちでパートを分け、伴奏まで歌い、その美しい声の響きが生徒や審査員に魅了した。

また、自分たちで作曲したオリジナル曲を自らギターを弾いて歌うクラスや「ロード」という曲の歌詞を手話で伝えるクラスもあった。「職員代表ということで『Love』を贈る」と田口先生に場

からは、「ミ箱の大きさ、素材などに規制を設けろ」との意向があったので、開催を決めたとおっしゃって。今年のゴミ箱コンクールは規制を設けられたとはいえ、個性的でユニークな作品が二十個提出された。その中でも、際目立っているのは、ミDの「ラジビーム」長野五輪で日本選手が活躍したラージビームを模倣したもので、丘の上から空き缶振がずと下にある四つに切り取られた観客スタンドに必ず入るという品だ。また、最も注目されたのはごみの分別を表現した作品。数は少ないが、ものごみの問題が深刻化していく今後さらにその必要性が高

題字の多くは漢字二字の形跡。だが漢文のスタイルの「御風」(平七)や、平仮名の「二」(平九)という特異なものも少なくない。

能高祭では質・量ともに普段味わえないようなものが出る。今年度はそのごみ処理対策として、「ごみバスターズ」が募り集められた。この組織は各種のごみ分別をなみそ、ビンや缶、針・針金をはじめとする各種類に分別してくれるもので、これらが組成された背景には、学校の焼却炉が使えなくなってきたことにより、「ごみ

「空翠」が人気を博した。而しては「目」の二匹。「目」の字の目の部を眼珠の輪表にしてはならなかつたといふことがある。

あくまでも本人の希望で募たこみバスターズ、一年生八人、二年生三人、三年生七人の計十三人が集まつた。六千五百から五千九百までのない時は一人、多い時は七人の割りに従ひ、一回十から三分程度汗を流した。

技師秩父さんの協力に

バレーボール経験の全くない武石也也先生が男子バレー部顧問に決まり、最初になされたことは、本を買ってルールを覚えること。目標は「能工のレベルに近づくこと」と掲げ、前顧問の大坂谷先生、女子バレー部顧問の今野先生に助言仰ぐのにも余念がない。今年のチームを「二人の選手が」「さやか」で選抜、経験済なので戦力倍です」と評価。総体・回戦の相手は強豪大館鷹鳴高。一セツ校め序盤は三対四のまま攻めあぐねていたが、鷹鳴が連続得点をあげると一時は同点まで粘るも十五対九で悔敗。二セツ校めは鷹鳴の強烈なスパイクを食ひきれず、あつてなく十五対四、若いが人続出にもめげなかつた。若いチームの来年に期待したい。

若いチームの今後に期待

新顧問と共に強豪に挑む

優秀賞を獲得したINCのクラブデコは、英園祭と銘打った、イキズをあらゆる角度から見たのであった。企画は、何と昨年の十月に既に成されておき、クリストフ・サケイ先生の提案をうけ、そのために、宣旨の

第39回 能

英国大使館の協力を得て

クラブデコ

INC

進により意思の疎通が困難なときもあったが、顧問の森倉美夫先生の力を借りながらデコをつくりあげた。部員が最も力をくれたところは、日本とイギリスの身近な文化の比較である。教科書

後夜祭 高橋ジ

つた。資料の中には四体のものもあるが、ネル人形があり、日本のははげしく感ぜられないようなタッチの線イギリスのしきが感ぜられる。時間と手間とのテより、いつか時とており、すばらしい上がりになっていた。

規制を設け今年

今年度の「コミ箱」は、能楽家後の作品の整理に間があるに、今後、開催がやぶまれた。特活任の神虎先生は、「今、ダイオオの件について」

「少年犯罪」や「ごみ問題」に
目新しいところでは、「熊高小
校則や制服」に関するものも
映画「タイタニック」を扱っ
たものがあつた。

も脚確 ゴミ箱

や分別の取り組んでいるのに
ごみを出たためにゴミ箱を壊
したようなものではなかなかあ
りませんでした。先生から言
えた。だが他の先生からは
「年に一度、生徒たちが力を
合わせて作るものだ」という

壁新聞の顔ともいうべき「題字」。過去五五新聞「平成五年／＼年の題字を分析してみよう」まずは多く使われている漢字「風」が一位で、続いて「流」(「翠」・「麗」・「薫」・「高」)校生らしく、さわやかなイメージが強いのか、「蒸」・「流」・「清」・「澄」という題字は過去五五新聞で三回ずつ登場。同じ漢字を繰り返して使う

のもある。今年度は「せせらき(二匹)と平仮名四字のもの」が見られた。

また、「悟空」・平五、「告白」(平五)、「題名も紹介しない」など個性の顯も多し。

今度作品品について、は題のみ的人气投票を行った。能高祭期間中に最も票を集めたのが「三の(護謄)」。理由は「レタリングが美しい」が大抵、続て

バスケットボール部／県北総体決勝戦



能工から「50点」の目標達成

現在もあ
る佐
先生
工業
るの
なが
き継
「個
くか

学生のころ、チーム内に日本リーグで活躍していた藤井長選手がいて、おかげで中大会優勝経験を持っていた。前顧問の大澤利雄先生は、

「十年間『能代 VS 能工高』が対戦相手だったから、高校から五十歳まで目標としたチームを引継いできたチームをやりこめたい。チームの戦力を高めるには、選手がうまく試合に大きな力を発揮する。ベンチにも、オフにスリがあり、切れ目なく点を重ねていく」と分析し、北見緑体の決勝の相手は「敵能工高」だ。

攻撃が一進一退、守方が続くが終盤、相手ディフェンススリを徹しくゴールに入りこめ、後半を迎える。選手交代、イアワで流れを絶つたが、105分、60秒。だが、今後の糧となる試合があった。

Q. unicolor

高祭 前日までの大雨を
吹き飛ばす熱い

歌と花のうた

六、日続の公、デーマ

「天
神

八助
よ私に

我、
力をお

「せ」かへ

ださい

なく「キティちゃん」や
印良品などの親しやせ
わたりやすいことをイタ
ネットを利用して調べた。
そもそもこの企画は、
キリス大使館が資料が美

今年の壁新聞コングレ
題字の説明を入れることが
件づけられた。昨年度まで
字の読みと意味が不明な作
が多く見られた反省から、こ
この説明では「題字の言葉
意味が自分たちのことを表
ている」というものが多数
り、美しく脚へ、「さわや

取材を 壁新聞

審査にあたられた先生方
お話しは、「今年は安易にア
ケトをと、それを作品
活かに切れなかつたラスが
多い」、「雑記と重複する内
容が見られた」、「誤字・脱
字三A 地獄に工夫をこらした題

多い」など、今後の反省材料とするべきことがいろいろあった。最優秀賞の三Gは、地域に足を伸ばし、意欲的に取材した点が高い評価を得た。用紙が配布をいかに充実させるかが受賞の鍵である。

三F 均整のとれた華な顔字

